

地質ニュース

昭和 63 年 7 月

第 407 号

1 9 8 8

韓国の金属鉱床の近況について.....	石原舜三	6
化学化石“バイオマーカー”を測る.....	金子信行 坂田行将	22
佐渡西三川砂金山の歴史地理.....	小菅徹也	32
パソコン用地学かな漢字対応表.....	野呂春文・村田泰章 佐藤岱生・小松崎峰子	44
光ディスク画像とパソコンを用いた ボーリングコア検索システム.....	山口博 小井靖之 今井長及 谷川紘和	50
最近中国で発見された新鉱床.....	岸本文男	43
海外室だより.....	海外室	59
五日市 Itsukaichi	酒井彰	61

口 絵 「佐渡西三川砂金山の歴史地理」..... 小菅 徹也・浦辺 徹郎

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

佐渡笹川十八枚村砂金山地図（年不詳）

西三川砂金山の村絵図は数枚あるが いずれも無年号である。作図手法 絵の具の色などからおよその推定をするならば 古いものは宝暦年間ころから明治初年までのものと考えられる。この笹川十八枚村砂金山地図は 絵図とあるべきところが地図 となっているところから明治初年の写しかと考えられるが 集落をとりまく虎丸山 杉平山 峠坂山 立て残し山等の砂金山の山々や砂金用水の水路と受堤（砂金山特有の底の浅い溜池）が水色で示してあり 西三川砂金山の概略を理解する上で有効なものとなっている。特に小佐渡山脈の最高峰である経塚山付近の真野川最上流から延々12km におよぶ峠坂受堤までの水路や 金山川の上流にある青池から山腹をくり抜いて井ノ上沢に通じる用水の間敷を記入してあるのも珍しい。なお運上蔵跡が金山役所となっていることや 村の伝え通りに役宅が二軒書いてあるのも面白い（小菅徹也）。

8 月号 予定目次

電気探査と地下水研修

中国のダイヤモンド産業あれこれ

キュリ一点深度と地震

西アルプスの地質